

木津川で伝統的治水工法“中聖牛（ちゅうせいぎゅう）” 作りに挑戦！ ～中間報告～

H29.11.12

—淀川河川事務所—

11月12日（日）に河川協力団体やましる里山の会、京都大学竹門准教授などが中心となって進めている聖牛製作に淀川河川事務所も参加しました。また製作にあたっては、静岡で聖牛製作などに携わっている(株)原小組の協力を得ながら実施しました。

聖牛とは河川の水勢を緩和させるための伝統的な河川工法の一つで、また木材で作られているため年月が経てば自然に帰るなど環境にも優しい工法になっています。

12月2日、3日に木津川河川敷（活動概要「ところ」より下流付近）に設置して完成する予定です。

活動概要

とき：平成29年11月12日（日）

10:00～15:00

ところ：木津川河川敷（玉水橋の下流16km右岸付近）

参加人数：約30人（内：淀川河川事務所 6人）

主催：河川協力団体やましる里山の会、京都大学、

淀川河川事務所



当日の様子

聖牛を作る材料は木材と針金のみ！

白波瀬副長による挨拶の様子



針金による留め金作り



聖牛について学んでいる様子



みんなでロープを引っ張って聖牛を立てる



中聖牛の完成！



作業時の様子



8月から10月にかけて製作した蛇籠を使用



～参加者の声～

- ・昔ながらの工法が今も引き継がれていることがとてもすごいと感じた。
- ・古き物を大切にしつつ、その場所にあった対策を行っていきたく思った。



■ 問い合わせ先 ■

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 河川環境課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2-10
TEL 072-843-2861 (代)

